

家畜感染症学会学術集会の開催案内

第14回家畜感染症学会学術集会が下記の通り開催されますので、ご案内します。

記

1. 日 時：2024年12月14日（土）15日（日）
2. 会 場：大阪公立大学 i-site なんば
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東 2-1-41
3. テー マ：母体管理で子牛の下痢症を守ることができるのか？
4. 開催方法：対面ならびに Web（Zoom）開催のハイブリッド形式
5. 大会長：向本 雅郁
大阪公立大大学院獣医学研究科 名誉教授
6. 内 容：
 - 12月14日（土）13：00～17：30
 - 開 会：
 - 教育講演：
クリプトスポリジウムの基礎と応用、そして最新知見について
松林 誠（大阪公立大学）
 - 推奨研究：
 - 1）クリプトスポリジウム症の疫学情報および IgY を用いた予防対策について
水戸 康明（NOSAI 岡山）
 - 2）乳牛における母体管理から考える子牛の下痢症対策
室矢 武則（NORTH VETS）
 - 2）黒毛和種におけるクリプトスポリジウム症の影響と母牛管理からの対策事例
叶 有斗（NOSAI かごしま）
 - 4）総合討論：
 - 活動報告
 - 意見交換会：アリーズ PS（参加費別途）
 - 12月15日（日）9：00～17：00
 - 第13回最優秀賞受賞者講演
牛伝染性リンパ腫ウイルス抵抗性マーカー遺伝子の簡易検査法の開発
野津 昂亮（宮崎大学）
 - 一般口演 10題程度募集
応募締切り：2024年11月30日（土）
 - ランチョンセミナー（公募中）
 - マイクロバイオームに関する全国アンケートシンポジウム

1) 子牛の診療指針と腸内細菌叢に関する全国アンケート報告

大谷 夏輝（千葉 NOSAI、東北大学大学院農学研究科）

2) 家畜の腸内細菌叢の計算科学的理解と応用展開

宮本 浩邦（千葉大学、RIKEN）

3) 持続的家畜生産のためのイムノバイオティクス戦略

須田 義人（宮城大学）

4) 細菌叢制御による一石三鳥の家禽生産機能向上への挑戦

新居 隆浩（広島大学）

5) 総合討論

- 最優秀賞、大会長賞、奨励賞、表彰式
- 閉会：

7. 参加費：正会員・賛助会員：4,000 円

非会員：6,000 円、学生：無料

※ 参加には事前登録と事前入金が必要です

（締切り：2024 年 11 月 30 日（土））

事前登録：<https://kachikukansen.infotecs.jp/202412/>

※ 開催時刻は 2024 年 10 月 4 日時点の予定であり、多少変更する可能性があります。

最新の情報は、学会 HP をご確認ください。